

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年11月1日(2022.11.1)

【公開番号】特開2021-48940(P2021-48940A)
【公開日】令和3年4月1日(2021.4.1)
【年通号数】公開・登録公報2021-016
【出願番号】特願2019-172454(P2019-172454)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月24日(2022.10.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

20

複数種類の演出識別情報の可変表示を行って表示結果を導出表示し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

実行中の可変表示に対応した特定表示を表示可能な特定表示手段と、

遊技者が操作可能な操作手段と、

文字画像が付加された動画像を表示する特定演出を実行可能な演出実行手段と、

動画像に関するデータを記憶する第1記憶領域と、

文字画像に関するデータを記憶する第2記憶領域と、

前記第1記憶領域のデータを用いて動画像の表示を制御する動画像制御手段と、

前記第2記憶領域のデータを用いて文字画像の表示を制御する文字画像制御手段と、を
備え、

前記第2記憶領域のデータは、第1構成要素と、第2構成要素とを含む複数の文字画像
構成要素に関するデータを含み、

前記文字画像制御手段は、1の動画像に付加された文字画像の表示期間において、第1
構成要素と第2構成要素とを変更可能であり、

前記演出実行手段は、

前記特定演出として、遊技者にとって有利な有利状態に制御される場合に対応する第
1特定演出と、前記有利状態に制御されない場合に対応する第2特定演出と、を実行可能
であり、

前記演出識別情報と、文字画像と、は異なる文字情報の可変表示を行う文字情報予告
演出を実行可能であり、

前記文字情報予告演出において前記操作手段が操作されたことに基づいて導出表示さ
れた前記文字情報を前記特定表示に重畳するように表示可能であり、

前記文字情報の態様として、前記有利状態に制御される期待度が異なる複数種類の態様
があり、

前記動画像制御手段は、前記第1特定演出と前記第2特定演出とで、異なる前記第1記
憶領域のデータを用いて動画像の表示を制御可能であり、

30

40

50

前記第２記憶領域の複数の文字画像構成要素に関するデータにより構成される文字画像データテーブルがあり、

前記第１特定演出を実行する場合において用いることが可能な前記文字画像データテーブルは、第１文字画像データテーブルと、該第１文字画像データテーブルとは異なる第２文字画像データテーブルと、を含み、

前記第２特定演出を実行する場合において用いることが可能な前記文字画像データテーブルは、前記第１文字画像データテーブルと、前記第２文字画像データテーブルと、を含み、

前記第１文字画像データテーブルを用いて文字画像が表示された場合よりも、前記第２文字画像データテーブルを用いて文字画像が表示された場合の方が、前記有利状態に制御される期待度が高く、

前記第１文字画像データテーブルは、第１文字情報により構成された第１構成要素および第１表示設定情報により構成された第２構成要素を用いて第１文字画像を表示する第１データと、第２文字情報により構成された第１構成要素および第２表示設定情報により構成された第２構成要素を用いて第２文字画像を表示する第２データと、を含んで構成される、

前記第２文字画像データテーブルは、前記第１データと、第３文字情報により構成された第１構成要素および第３表示設定情報により構成された第２構成要素を用いて第３文字画像を表示する第３データと、を含んで構成される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

パチンコ遊技機等の遊技機において、スーパーリーチ演出の実行中に、キャラクタのセリフの文字情報を、異なる態様により表示可能とする技術が提案されている（例えば特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

【特許文献１】特開２０１６－７７５９２号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

上記特許文献１に記載の技術によると、文字画像が付加された動画像を表示する場合に、動画像を表示する制御負担が増大すること、あるいは、文字画像の認識が困難になることなど、表示の制御に不都合が生じるおそれがあった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

この発明は、上記実状に鑑みてなされたものであり、適切な表示の制御を可能にする遊技機の提供を目的とする。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 1 】

（手段 A）本発明による遊技機は、複数種類の演出識別情報の可変表示を行って表示結果を導出表示し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

10

実行中の可変表示に対応した特定表示を表示可能な特定表示手段と、

遊技者が操作可能な操作手段と、

文字画像が付加された動画像を表示する特定演出を実行可能な演出実行手段と、

動画像に関するデータを記憶する第 1 記憶領域と、

文字画像に関するデータを記憶する第 2 記憶領域と、

前記第 1 記憶領域のデータを用いて動画像の表示を制御する動画像制御手段と、

前記第 2 記憶領域のデータを用いて文字画像の表示を制御する文字画像制御手段と、を備え、

前記第 2 記憶領域のデータは、第 1 構成要素と、第 2 構成要素とを含む複数の文字画像構成要素に関するデータを含み、

20

前記文字画像制御手段は、1 の動画像に付加された文字画像の表示期間において、第 1 構成要素と第 2 構成要素とを変更可能であり、

前記演出実行手段は、

前記特定演出として、遊技者にとって有利な有利状態に制御される場合に対応する第 1 特定演出と、前記有利状態に制御されない場合に対応する第 2 特定演出と、を実行可能であり、

前記演出識別情報と、文字画像と、は異なる文字情報の可変表示を行う文字情報予告演出を実行可能であり、

前記文字情報予告演出において前記操作手段が操作されたことに基づいて導出表示された前記文字情報を前記特定表示に重畳するように表示可能であり、

30

前記文字情報の態様として、前記有利状態に制御される期待度が異なる複数種類の態様があり、

前記動画像制御手段は、前記第 1 特定演出と前記第 2 特定演出とで、異なる前記第 1 記憶領域のデータを用いて動画像の表示を制御可能であり、

前記第 2 記憶領域の複数の文字画像構成要素に関するデータにより構成される文字画像データテーブルがあり、

前記第 1 特定演出を実行する場合において用いることが可能な前記文字画像データテーブルは、第 1 文字画像データテーブルと、該第 1 文字画像データテーブルとは異なる第 2 文字画像データテーブルと、を含み、

40

前記第 2 特定演出を実行する場合において用いることが可能な前記文字画像データテーブルは、前記第 1 文字画像データテーブルと、前記第 2 文字画像データテーブルと、を含み、

前記第 1 文字画像データテーブルを用いて文字画像が表示された場合よりも、前記第 2 文字画像データテーブルを用いて文字画像が表示された場合の方が、前記有利状態に制御される期待度が高く、

前記第 1 文字画像データテーブルは、第 1 文字情報により構成された第 1 構成要素および第 1 表示設定情報により構成された第 2 構成要素を用いて第 1 文字画像を表示する第 1 データと、第 2 文字情報により構成された第 1 構成要素および第 2 表示設定情報により構成された第 2 構成要素を用いて第 2 文字画像を表示する第 2 データと、を含んで構成され

50

前記第2文字画像データテーブルは、前記第1データと、第3文字情報により構成された第1構成要素および第3表示設定情報により構成された第2構成要素を用いて第3文字画像を表示する第3データと、を含んで構成される、

ことを特徴とする。

さらに、(手段1) 本発明による遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態)に制御可能な遊技機であって、遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値(例えば、設定値「1」～「6」)のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100における、電源投入時に設定確認処理や設定変更処理を実行し、現在の設定値を確認したり設定値を変更したりする部分)と、特定演出(例えば、第1態様～第7態様の特定演出)を実行可能な特定演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120における、ステップ102 IWS 503, S 506, S 509, S 512, S 515, S 518, S 521, S 907を実行する部分)と、可変表示を実行可能な可変表示実行手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100における、ステップS 110～S 113を実行する部分)と、可変表示中にリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120における、変動パターンがPt 13, Pt 15, Pt 21, Pt 22のいずれかである場合にステップ102 IWS 805を実行する部分)と、を備え、特定演出実行手段は、特定態様(例えば、第3態様、第4態様)と、該特定態様とは異なる特別態様(例えば、第1態様)とを含む複数の演出態様の特定演出を実行可能であり、第1設定値(例えば、設定値「1」)が設定され且つ有利状態に制御されるときよりも、該第1設定値よりも遊技者にとって有利な第2設定値(例えば、設定値「6」)が設定され且つ有利状態に制御されるときの方が高い割合で特別態様の特定演出を実行し(例えば、演出制御用CPU120は、図8-7(A)に示す第1特定演出実行抽選テーブルを用いて第1特定演出の実行の有無を決定することにより、設定値「1」が設定されている状態で大当りとなる場合よりも、設定値「6」が設定されている状態で大当りとなる場合の方が高い割合で第1特定演出を実行する)、リーチ演出の実行中に特定演出を実行可能であり(例えば、演出制御用CPU120は、リーチ中に特定演出を実行可能である(図8-9参照))、さらに、文字画像が付加された動画像を表示する動画像演出(例えばSPリーチAやSPリーチBのリーチ演出など)を実行可能な動画像演出実行手段(例えば演出制御用マイクロプロセッサ91AK100など)と、動画像に関するデータを記憶する第1記憶領域(例えば記憶エリア91AKM11など)と、文字画像に関するデータを記憶する第2記憶領域(例えば記憶エリア91AKM13など)と、第1記憶領域のデータを用いて動画像の表示を制御する動画像制御手段(例えば映像デコーダ91AK143、動画像レンダラ91AK144など)と、第2記憶領域のデータを用いて文字画像の表示を制御する文字画像制御手段(例えば映像デコーダ91AK143、テキスト画像レンダラ91AK146など)と、を備え、第2記憶領域のデータは、第1構成要素(例えばテキスト画像指定情報により指定されるテキスト画像など)と、第2構成要素(例えばテキスト表示設定情報により設定される表示スタイルなど)とを含む複数の文字画像構成要素に関するデータを含み、文字画像制御手段は、1の動画像に付加された文字画像の表示期間において、第1構成要素と第2構成要素とを変更可能である(例えば図13-7を参照)ことを特徴とする。そのような構成によれば、特定演出が特別態様で実行されるかどうかにより遊技者が注目する点で興趣を向上させることができる。また、特定演出の興趣を向上させることができる。また、適切な表示の制御が可能になる。

10

20

30

40

50